

コロナ禍での取組について

松山市・人権啓発課

1 本年度の取組について

(1) 人権啓発推進員養成講座などの各種研修事業の推進

例年実施している「人権啓発推進員養成講座」及び「企業内人権教育担当者研修講座」等は、新型コロナウイルス感染症の感染対策マニュアルを作成し、感染状況を見ながら開催した。また、感染拡大に伴い会場開催を中止した際には、研修資料を配布しレポートを提出する形式やオンライン形式等、開催方法を工夫して実施した。

(2) 各地域における人権教育・啓発活動

学校や公民館、ふれあいセンターと連携し、学校、公民館や分館・集会所等を単位とした地域での人権に関する学習会や講演会の実施に伴い、人権啓発課指導員の派遣をはじめ、他の人権教育啓発講師の情報提供及び、啓発DVDや資料の情報提供を行った。また、感染拡大に伴い学習会等の実施が困難となった場合でも、人権に関する啓発チラシの配布や回覧など可能な範囲で実施できるよう助言や支援を行った。

(3) 講演会等

「人権啓発フェスティバル 2021」では蓮池薫氏による「夢と絆～北朝鮮での24年間、そして今～」をテーマとした講演会を開催し、オンラインによる配信も行った。フェスティバルの参加者からは、参集とオンラインの同時開催が望ましいとの意見が多くあり、次年度以降についても、同様の開催方法を検討していく。また、初めて参加した方も多く、より広範な人権教育啓発につながった。

また、「松山市人権教育研究大会」での腰塚隼人氏による「命の事業」をテーマとした講演会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大で会場講演を中止したが、オンライン配信により実施した。

(4) その他の取組

市広報紙やリビングまつやまを活用して、同和問題をはじめとする様々な人権問題に関する記事を掲載し、差別抑止に向けた啓発を行った。また、「人権啓発展」を定期的実施し、より多くの市民に人権の大切さを呼びかけた。



【令和3年度人権啓発フェスティバル 2021 講演会】

2 成果と課題

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、オンライン配信などを取り入れた講演や講座を行った。今後も新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた対応を工夫し、事業を推進していきたい。